

会 議 録

会議の名称	平成 29 年度第 4 回西東京市高齢者保健福祉計画検討委員会
開催日時	平成 29 年 8 月 17 日（木曜日）午後 1 時 00 分から午後 2 時 30 分まで
開催場所	田無庁舎 3 階庁議室
出席者	<p>（委員）金子委員長、須加副委員長、赤司委員、石塚委員、海老澤委員、内田委員、江刺家委員、小平委員、高橋委員、梅田委員、浅野委員、武田委員、平塚委員、</p> <p>（事務局）健康福祉部長、ささえあい・健康づくり担当部長、高齢者支援課長、介護保険担当課長、以下 6 名</p>
議 題	<p>（1）前回会議録の確認について</p> <p>（2）グループインタビュー及びワークショップ実施結果について</p> <p>（3）第 7 期西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 構想案について</p> <p>（4）第 7 期西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 基本理念について</p>
会議資料の名称	<p>（事前送付資料）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 3 回西東京市高齢者保健福祉計画検討委員会会議録（案） 資料 1 第 7 期西東京市グループインタビュー実施結果（抜粋） 資料 2 第 7 期西東京市地域包括支援センター別ワークショップ実施結果（抜粋） 資料 3 第 7 期西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 構成案 資料 4 第 7 期西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 基本理念 <p>（参考資料）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西東京市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成 27 年度～平成 31 年度）（概要版） ・基本指針について
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会 議 内 容
1 開会
2 配布資料の確認

3 議題

(1) 前回会議録の確認について

○金子委員長：

前回会議録の内容について修正、変更等はあるか。
どうぞ。

○内田委員：

一字訂正をお願いします。

5 ページ目の当方の発言であるが、「不満」を「不安」と訂正していただきたい。

○金子委員長：

書き換え願う。

また、前回の会議録に関して事務局から何かあるか。

○事務局：

委員からいただいた連絡表についての報告・説明（資料なし）

【連絡表のご意見その1】

前回資料の第6期計画における施策の進捗状況について、表現の違う所が2カ所あるとご指摘いただき、標記を変更している

- ・ いこいなサロンの表現について、「4月1日現在 20 団体」の表記から「29年3月31日現在」として「19 団体」とした。
- ・ 19 団体の評価について、前々回の資料に「ほぼ達成された」と評価していたが、第6期の計画策定の数値目標と見比べ、28 年度より開始した事業の運営としては促進をしているものの、目標値が 60 団体となっているため、「あまり達成されていない」という表現に変更。

【連絡表のご意見その2】

利用者、介護者が生活していく上で、提供できるサービスについてわかりやすく施設の特徴やコメントがある一覧表があると選びやすいということでご意見をいただいた。

この点については、「介護保険事業者ガイドブック」を毎年作成しており、窓口、出張所、包括支援センター等に配布している。

記載事項については、西東京市の介護保険の連絡協議会に登録している事業者の情報を記載しており、施設については、各事業者のPRの部分の掲載や、医療要件等があるような方の場合にその詳細を記載したり等の内容を掲載している。

同様のものを、市のホームページにも掲載している。

【連絡表のご意見その3】

地域で支え合う仕組みづくりについて、支え合い・見守り合っていくとなっても、実際に近所でもお互いを知らないことが多いため、まずは知り合いを増やすことが先決であり、そのためにはどのようなことをしたらよいか考えていきたい、とご意見いただいた。

これから地域づくりについてはより重要になってくるとため、さまざまな機関、関係者の協力をいただきつつ、市としても仕組みづくりに取り組んでいきたいと考えている。

○金子委員長：

以上、3点、連絡票に基づいて意見修正等を行い、前回会議録については委員承認をいただいたということで取り扱う。

(2) グループインタビュー及びワークショップ実施結果について

○金子委員長：

議題の(2) グループインタビュー及びワークショップ実施結果について 事務局より説明をお願いしたい。

○事務局：

(高齢資料1) 第7期西東京市グループインタビュー実施結果(抜粋)、(高齢資料2) 第7期西東京市地域包括支援センター別ワークショップ実施結果(抜粋) 説明

○金子委員長：

質問、意見等あればご発言をお願いしたい。

○武田委員：

2点質問がある。

1点目、当該資料については冊子を作成する等して公表されるのかご教示いただきたい。

2点目、2025年に向けた地域包括ケアシステムの構築に向けたという意味では、今回のワークショップとグループインタビューの中身が希薄であるように思う。これらはどのような問題意識でどのような意図のもと実施されたものであるか、ご教示いただきたい。

○事務局：

1点目について、最終的には第7期の高齢者保健福祉計画および介護保険事業計画の中に、当該資料を多少加工した形で掲載する。また、市のホームページ、情報公開コーナー等で本会議資料として公開している。

2点目について、テーマとしては「住みなれた地域で高齢者が安心して暮らし続けるために必要なこと」を大命題としている。その大命題について団体・地域包括支援センターの立

場から、それぞれの考えにもとづく解決策としてどのような方向性が考えられるか、という意見を自由に出していただき整理したものとの位置づけである。

○金子委員長：

2025 年を見据えてということになると、それほど長期であるわけではないものの、この 7、8 年という期間でどれだけ地域が変わるのかについては予測が難しい面がある。

特に西東京市においては、直近の 5 年間で国勢調査の結果が大きく変わっており、次の 5 年後の調査はどのような結果になるか予測ができない状況である。

2025 年に向けて国勢調査の結果は 2 回、結果が出るのは 1 つ 2025 年を超えるが出てくるが、それを見据えることは難しい。

ただ、個人的見解であるが、グループインタビューあるいはワークショップ等の中にある人材確保の必要性は、変化なく継続していこうと想定される。また、もう一つ最も大切であるのは、地域によって 1 カ所で対応できないケースがあるなどの多職種連携の必要性も変化なく継続していこうと思っている。

それ以外の事柄については予測が不可能であり、短期間でも様々なことが変わっていく。

例えとして人口について言えば、マンションの乱立により人口増であるが、どの年齢層が入居するのか等も予想が難しい。西武線と東武線はで様相が違い、東武線沿線の場合には、土地が西武線沿線と比べて安いので、比較的若い層が入ってこられる環境がある。そうすると、どのような年齢層が入ってくるのか。またこの西東京市の中でどれだけ新世帯ができ、西東京市の家族構成が変わっていくのか。想定はできないことはないが、私個人としてもこの 8 年間を見据えてということになると困難である。

よって、人材と多職種連携の重要性以外の事柄は、例えば計画どおり 3 年ぐらいつ見直し毎に確認するのが良いのではと思う。

○武田委員：

インタビューをされる側については、さほど問題意識がないものと想定されるため、「医療と介護の連携についてどう思うか、どのような実情にあるか」等、具体的なトピックを投げかける形で課題を把握していくほうが良いと思う。

トピックを決めないまま問題意識を聞いた場合、出てきた意見が平面的になることを危惧している。

○事務局：

アプローチの仕方として、素材として集めるということでフラットに聞いていく聞き方と、ある程度課題を詰めた上で、そこについて投げかけを行う聞き方がある。今回の場合には、前回の計画策定から 3 年経過し、前回と比べ何がどの程度変化したかについてフラットに情報を集め、それを整理しようという視点で実施したものである。

委員からご指摘いただいたやり方等もその一つとして考えられるので、次回実施の際には

そのような要素も市と相談の上で入れながら調査を進めていきたいと思う。

○小平委員：

人材不足、人材確保という話が出たが、2つの意味があるのでご留意願いたい。

1点目が職業としての不足。例えば介護施設職員の不足等。

2点目が市民活動、ボランティア活動としての人材の不足。

○海老澤委員：

グループインタビューの行い方についてである。今後、次の段階として、民生・児童委員として具体的にどのように動いたらいいのか、それぞれの部署で具体的に達成するにはどうしたらいいかということを含めて考えていただきたい。

○武田委員：

再三申し上げるが、グループインタビューやワークショップにおいて、住民団体や地域包括支援センターだけでなく、市民を巻き込んで行うことが肝要であるのでご留意いただきたい。

○金子委員長：

次回、このご意見をぜひお入れいただきたい。

○赤司委員：

グループインタビュー、ワークショップの質問の仕方について、質問をする際に解決策案を同時に聞いたほうがよいと思う。

○金子委員長：

次回インタビュー案を作成する際に、項目に入れてご準備いただきたい。

(3) 第7期西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 構成案について

○金子委員長：

議題の(3)番、第7期西東京市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画構成案について 事務局より説明をお願いしたい。

○事務局：

(高齢資料3)第7期西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 構成案について、(参考資料)基本指針について説明。

○金子委員長：

質問、意見等あればご発言をお願いしたい。

○高橋委員：

課長会議の資料の冒頭にも、「地域包括ケアシステムの基本理念」として、当事者だけの問題ではなく、障害者や子供などにも広げて考えましょうというのが基本理念にある。

それに対して今回の7期の案は、どこの部分が他のいろいろな対象者との関係について説明する箇所になっているのか。

家族という視点で考えると大人、子供、お年寄り、障害者もおり、ほかの計画との関係でどのように連携していくのか。特に「地域包括支援センターの機能強化」がそのまま記載されているが、包括の実情として仕事で手いっぱいである現状があると思う。このうえさらに包括のすべきことが増えるのは懸念事項である。

機能強化ということで何が本当に現状でできるのかの具体的案を考えなければいけず、単に「機能強化」と記載して具体的案を記載しないのであれば、包括としては何をすべきか判断できないのではないか。

○事務局：

地域包括ケアシステムについて地域共生社会ということが言われており、子供から障害者、お年寄りと、地域に住んでいる方全ての方が対象となってくる。

第1部の総論の、2章部分で「計画の位置づけ」、「西東京市版地域包括ケアシステムの構築に向けて」として新規で記載している。これらについて総合的に計画に位置づけながら進めていかなくてはいけないものであると認識している。

また、第2部7章の地域包括支援センターの箇所でも「地域を支える地域包括ケア体制の充実」として記載している。子供や障害等様々な課題を抱えている方への対応として、今の包括の人材量では手が足りず、地域包括支援センターをどのように活用しつつ、他の様々相談機関と連携をとりながら地域共生社会に耐え得る機能として充実できるかについて、皆さまのご意見をいただきつつ検討していきたい。

さらに、他の計画との整合性については、これから健康福祉部の中での最上位計画の中に地域福祉計画あり、これに「地域包括ケアシステムの構築に向けて」という内容を盛り込むことになっている。そのため、その地域福祉計画、また高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画、さらには現在策定段階に入っている障害の計画についても、地域包括ケアシステムの観点を盛り込みつつ、どのように横の連携がとれるかについて進めていきたい。

○武田委員：

1点委員会のたてつけについて確認である。

構成案については、介護保険運営協議会と連名で策定するものではないのか。

○事務局：

たしかに、諮問については介護保険法、また介護保険条例に基づいて、介護保険のサービスの3年間の見込みや保険料の策定に向けての検討をいただくための介護保険運営協議会で行っている。

しかし、本日の構成案については、高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画を一体のものとして計画書として策定していくものであり、第2部で市での独自の取り組みを中心に記載し、第3部で介護保険のサービス料の見込みや保険料の算定に向けた内容が記載されている関係から、まずは高齢者保健福祉計画の委員会においてご審議いただきたいと考えている。

○武田委員：

内容について、全体的に7期案は修飾語が多過ぎるため、標記をよりシンプルに変更したほうが良いと思う。

具体的なところでは6点ある。

1点目、平成52年の将来像というのをこの7期の中でやるというのは何か理由があるのか。

2点目、第1部2章の新設される「西東京市版地域包括ケアシステムの構築に向けて」については今以上にクローズアップさせたほうがよい。

3点目、第2部第3章の「介護を必要とする方やその家族への支援」については、6期案の方が端的な表現となっていて良い。介護を必要とする方を支援するだけでなく、サービスを提供する必要があるため、それがわかるような標記にしたほうが良い。

4点目、第2部第2章のフレイル予防については、第1章の健康づくりと介護予防の推進とが該当箇所と思う。

5点目、第2部7章の「サービスの質の向上」については、体制についてか中身についてか、整理をしていただきたい。

6点目、第4部で「計画の推進体制」が出てくるが、第7期案の最後部の記載であり、計画のたてつけとして、推進体制という骨子となる基本的な部分の説明が計画の始まりではなく終わりに記載されていて問題ないのか。

○金子委員長：

ご意見をいただいた部分については、こちらでまた事務局と再考する。

(4) 第7期西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 基本理念について

○金子委員長：

議題(4)第7期西東京市高齢者保健福祉計画並びに介護保険事業計画基本理念について事務局から説明をお願いします。

○事務局：

(高齢資料4)第7期西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画基本理念、『健康』

応援都市の実現へ説明

○金子委員長：

質問、意見等あればご発言をお願いしたい。

○武田委員：

基本理念を考えるキーワードとしては、地域共生という言葉がクローズアップしてくるかと思う。また、地域包括ケアシステム、市民協働、西東京が進めている健康都市ということで、1から4をアレンジして申し上げると、「いつまでも自分らしく安心して暮らし続けられるまち 西東京～みんなで作る地域共生～」というのが一案ある。

「最後まで」や「人生の最後まで」という言葉については暗い印象を与えるため、「いつまでも自分らしく安心して暮らし続けられる西東京」。

また、地域共生が一つの第7期のキーワードであるため、「みんなで作る地域共生」、「社会」は外し「みんなで作る地域共生」である。

○金子委員長：

この案も含めてお考えいただければと思うし、新しい案があればお示しいただきたい。

○内田委員：

これからの地域包括ケアシステムの中で高齢者に特化しないというところを目指すのであれば、「最後」という言葉はなくてもいいかと。

また、市民の方々が主体的に動くことを意識するのであれば、「最期」を省いていることと、みんなで作るという「共生」という言葉が入っているため、1が良いのではと思う。

○江刺家委員：

地域包括ケアシステムは、これから地域で作らなければいけない重要なことであるということと、市民に地域包括ケアシステムということを考えて生活をしていただきたいこともあり、「最後まで」の文言は必要ないと思いつつ、2番がいいかと思う。

○高橋委員：

本来は「最後まで」、つまり看取りのことまで包含されるのが、国が考えているシステムなのではと思う。

ただ、文字にして「最後」と出てくると暗いイメージがあるのは確かなようで、「いつまでも」などと文言を置きかえられるなら良いと思う。

また、個人的には地域包括ケアシステムとは何なのか、中身がよく分からない部分がある。人よっての定義もばらばらであり、出てきた資料によって定義が異なっていることも多々あり、そのような人よって解釈が異なることをこのような文言として使用しないほうが良

いと思う。

○石塚委員：

「最後まで」、「人生の最後まで」とうたうより、「いつまでも」との表現のほうが受け入れやすいかと感じる。

また、地域包括ケアシステムは、地域において様々な面でお互いに気遣い、お世話をしながら、されながらという支え合い、より健やかに暮らすということであると思うため、「地域包括ケアシステム」や「共生」という言葉より、「支え合う」という簡単な言葉のほうがよりわかりやすく、伝わると思う。

○浅野委員：

医療関係から一言。西東京市として健康都市宣言をしているため、この中に「健康寿命を延ばし」、「健康」などという文字を入れたらよいと思う。

○小平委員：

キーワードとしては、「地域共生社会」をどこかで入れていただきたい。

この計画は3年計画であり、3年後には「地域共生社会」との言葉が、福祉分野だけでなくあらゆるところで広がってきていると思うためである。

○海老澤委員：

シンプルなほうがいいと思う。「最後」、「いつまでも」というとかえって限りがあるような印象を受けるため、例えば案の4で「いつまでも」は入れず、「地域の中で安心して暮らせるまち」にしておき、「希望と活力のある「健康」応援都市」とすると良いと思う。

○梅田委員：

2番が良いと思う。地域包括ケアシステムを進めているということもあり、これを市民の方に多く知っていただくという意味で「地域包括ケアシステム」の言葉を入れるのも良いと思う。

○須加副委員長：

そもそも論であるが、これは理念ではないと思う。

通常、理念は「企業理念」等と言われているように、簡単に変わるようなものではない。

このため、今検討しているものについては、理念ではなくキャッチコピーではないか。

そのようにキャッチコピーであると仮定すると、なるべくわかりやすいものが多い。多義的な言葉が入るよりは、皆が知っている普通の言葉で、これからの新しい目指したい計画を表現するというのが良いと思う。

○金子委員長：

いただいたご意見を検討し、また最終的なご意見をいただきたいと思う。

4 その他

○金子委員長：

「その他」について、事務局からご説明をお願いしたい。

○事務局：

議題（3）の構成案、議題の（4）基本理念等については、8月中をめどに、連絡票にて事務局までいただきたい。取りまとめの上、10月の会議で整理したものを案としてまとめていきたいと考えている。

また、次回日程については、10月12日（木）午後1時より高齢者保健福祉計画検討委員会を開催し、2時より介護保険運営協議会を開催する。会場は本日と同じく田無庁舎3階の庁議室にて行う。

さらに運営協議会の日程で11月30日と申し上げていた日程を11月16日（木）13時から15時と訂正する。

○金子委員長：

日程の変更をよろしくお願いいたしたい。

それでは、以上をもって第4回西東京市高齢者保健福祉計画検討委員会を終了する。

閉 会